

1



使用量は増減します。

最適な純石けんの使用量は、次の条件で増減します。

- 1、水の硬度が高いほど多くの純石けんが必要です。
- 2、水の温度が低いほど多くの純石けんが必要です。
- 3、助剤を入れると純石けは削減できます。
- 4、衣類に含まれる汚れに応じて純石けんが必要です。
- 5、洗濯時間が長いほど純石けは削減できます。

※以上のことから標準使用量が当てはまらない事が多くあります。

2



最適な使用量は

■面倒ですが最初だけ最適な純石けん使用量お確かめ下さい。

- 1、洗濯機に水量10リットル当たり純石けんを20g入れます。
- 2、洗濯機が回って泡が全面に出るのを確認します。
- 3、泡が出ない場合は、純石けんを追加して泡を出してください。
- 4、洗濯物を入れます。(衣類の入れ過ぎと不足にも注意)
- 5、洗濯が終わって排水する直前まで泡が出ている事を確認します。
- 6、泡が消えていた場合は、純石けんの不足です。
- 7、充分過ぎるほど泡が残っている場合は、次回は減らしてください。

※ワセリンや軟膏を含む衣類は、お湯で多めに使用してください。

3



洗浄力アップには

■洗浄力を上げる方法

- 1、中温(40度)～高温(70度)で洗うと効果的です。
- 2、助剤としてアルカリ剤や漂白剤と一緒に入れます。

注意

洗濯機の構造でも洗浄力は大きく左右されます。

■ワンポイント

洗濯機のタイプを問わずゴルフボールなど入れて洗うと大幅に洗浄力がアップします。

4



洗濯～すすぎ～脱水の時間

洗濯は40度のお湯が効果的です。残り湯でもOKです。

- 1、洗い10分以上
- 2、すすぎは1回以上
- 3、脱水は長いほど乾燥が速くなります。(但しシワに注意します)

※ワセリンや軟膏を含む衣類は、お湯ですすぐと効果的です。

5



すすぎの前にチェック(最重要)

ペットボトルに洗濯水を入れて振って泡が出るか確認します。
泡が出ない時は次回から石けんを増やします。
充分過ぎるほど泡が残っている場合は、次回は減らしてください。

※純石けんを使う上で最も重要なポイントです。
これをマスターすれば最高の洗い上がりが出てきます。

6



干す

直射日光で乾かすと繊維が硬くなりやすいので注意します。
但し、紫外線での消毒効果や消臭効果はあります。

注意

乾燥して衣類に汚れが残っている場合は純石けんが不足です。
次回は入れる量を増やしてください。

但し、部分的に汚れが残る場合は前処理してください。

(2010-03-02改訂)